

平成28年度調査研究計画説明会 挨拶

平成28年5月24日
幌延深地層研究センター所長 山口 義文

本日はお忙しい中、幌延深地層研究計画 平成28年度調査研究計画の説明会に足をお運びいただき、ありがとうございます。

本年4月1日よりセンター所長を務めております山口と申します。前任の清水同様によりしくお願い申し上げます。

昨年度は、独立行政法人の制度改革を受けて、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構として、新たな一步を踏み出した年であるとともに、7年間の中長期計画に基づいて事業を進めていく初年度でありました。

幌延深地層研究センターについては、その中長期計画に基づいて策定した、平成27年度調査研究計画が順調に進み、着実に成果をあげつつあります。これも、幌延町を中心とする地域の皆さまのご理解、ご支援の賜物と深く感謝しています。この成果については、現在取りまとめ作業を進めており、夏頃にはご報告させていただく予定としております。

一方、実際の地層処分の事業については、国が前面に立って科学的な見地からみた有望地を年内には提示していくという方針が示されており、処分事業の大きな転機を迎える年となります。

このような状況の中で、幌延深地層研究センターが今後とも研究開発の中核的な拠点としての役割を果たし続けていけるように、国の方針や処分事業の進展状況などを見据えながら、柔軟性をもって研究開発に取り組んでいきたいと考えています。また、研究開発を進めながら将来の計画についても検討し、平成31年度末までに、研究終了までの工程やその後の坑道の埋戻しなどを含む全体の計画を策定する予定です。

いずれにしても、研究を進めるに際して幌延町および北海道との間で取り交わした三者協定が大前提ですので、「放射性廃棄物を持ち込まない」、「研究が終わったら地下の施設は埋め戻す」といった約束をしっかりと守りながら公明正大に、かつ最大限の成果が得られるように進めていければと考えています。

本日は、これから平成28年度の調査研究計画を説明させていただきますので、ご意見等いただければと思います。

今後とも、安全を第一に情報公開を徹底させながら、着実に研究開発を進めていきますので、引き続き、ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。